

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 12 日 (2021.8.12)

【公開番号】特開 2021-97671 (P2021-97671A)

【公開日】令和 3 年 7 月 1 日 (2021.7.1)

【年通号数】公開・登録公報 2021-029

【出願番号】特願 2021-15026 (P2021-15026)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/11 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

A 6 1 K 35/745 (2015.01)

A 6 1 K 38/02 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/744 (2015.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/11 Z

C 1 2 N 1/21 Z N A

C 1 2 N 15/63 Z

A 6 1 K 35/745

A 6 1 K 38/02

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 35/744

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 19/10

A 6 1 P 29/00

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 18 日 (2021.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

グラム陽性細菌において活性な遺伝子間領域を含む組換え核酸であって、前記遺伝子間領域が前記グラム陽性細菌に対して外因性の遺伝子の 5' 末端に結合されて、前記遺伝子間領域が前記外因性の遺伝子に作動可能に連結しており、前記遺伝子間領域が、

a) 配列番号 1 ~ 13 のいずれか 1 つの配列を含む核酸、または配列番号 1 ~ 13 のいずれか 1 つの配列からなる核酸、

b) 配列番号 1、2 および 8 のいずれか 1 つの配列と比較して、1 つのミスマッチまたは 1 つのヌクレオチドの欠失もしくは挿入を含む核酸、

c) 配列番号 3 ~ 4 および配列番号 9 ~ 10 のいずれか 1 つの配列と比較して、1 つ

、2つもしくは3つのミスマッチまたは1つ、2つもしくは3つのヌクレオチドの欠失もしくは挿入を含む核酸、または

d) 配列番号5～7および配列番号11～13のいずれか1つの配列と比較して、1つ、2つ、3つもしくは4つのミスマッチまたは1つ、2つ、3つもしくは4つのヌクレオチドの欠失もしくは挿入を含む核酸
である、組換え核酸。

【請求項2】

前記遺伝子間領域が、前記グラム陽性細菌の1つ以上の内因性の遺伝子間領域から選択される、請求項1に記載の組換え核酸。

【請求項3】

前記グラム陽性細菌がラクトコッカス・ラクティス (*Lactococcus lactis*) である、請求項1または2のいずれかに記載の組換え核酸。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載の組換え核酸を含むベクター。